

子育て支援の理論的枠組みに関する考察
—ペスタロッチーを参考に—
～問題関心を中心に～

宮崎学園短期大学

中尾 香子

I 問題関心

1. 現代の子育て支援に関連して

(1) 何のための子育て支援か（子育て支援も含めて）

まず「支援策」ありき：少子化対策としての「子育て支援」の問題

→「子育てにおける負担感は少子化の要因」という分析（「エンゼルプラン」）

育児をめぐる現状・実態の把握不足：「子育ての大変さ」の軽視と誤解

対処療法的支援：保育時間の延長・病児保育の拡充←女性の労働力確保の視点

(2) 声が上げられない構造

育児休暇は現実的には取れない

妊娠・出産を契機に約 7 割が離職，仕事と子育ての両立が困難（「平成 20 年度版少子化白書」）

若者・子育て世代・女性の労働環境の問題

子育てを肯定的に捉える母親が増えた一方で、母親の子育ての負担感は変わらず、子育ての不安感は強まる傾向がある。父親の育児参加・家事参加の状況は変わらず、父親の帰宅時間が遅いと育児参加が不十分になる。（ベネッセ教育研究開発センター「幼児の生活アンケート報告書」2000 年と 2005 年の比較より）

女性教育の問題

(3) 幼児教育への低い認識と親教育・親育ちの問題

幼児教育・幼児教育者への低い認識

若い親世代の問題：親としての自覚の希薄さ・全般的なストレスへの弱さ

2. ペスタロッチー研究に関連して

社会改革家としてのペスタロッチーの再評価・クローズアップの必要性

ペスタロッチーの教育思想や実践の背景には、当時の社会への分析・哲学的背景があるが、研究者以外はあまりそのような背景を知らないため、スローガンのな部

分が一面的に強調されているのではないか。

→現場教師・学生などにおける教育思想・教育方法の理解の限定

3. 子育て支援の社会哲学の必要性

今の社会状況・構造を分析し、その上で今求められる幼児教育について考え、実践することが必要

←その方法論的視点として、ペスタロッチー・ペスタロッチー研究

II 方法

1. 社会構造分析と教育実践に基づくペスタロッチー理論を分かりやすく示し、広めていくこと

○時代の転換期にあつて、どのような人間を教育するのか、どのように教育するのか、といった根源的視点の提示

○社会改革（改善）の観点と教育方法との関連についての明示

□『幼児教育の書簡』の再検討

母子関係論や理想の母親像として捉えるのではなく、母親教育の書として捉える

ペスタロッチー理論の主要概念と幼児教育方法との関連の検討

→イギリスへの影響

2. 我が国の現代社会に対するペスタロッチー理論（社会構造分析と教育実践による改善の姿勢・態度・方法）の思い切った援用による子育て支援の社会哲学の構築

○我が国の現代社会をどう捉えるか（社会・経済・政治・文化・歴史などから見て）

○人類・世界の今と未来をどう作るかという視点

「日本経済を担う人材育成」ではなく、地球人・幸福に生きる人間の教育といった視点が必要ではないか

○ワークショップのような形で子どもたちや幼児教育の現場の声を拾いあげていく、あるいは研究者・関係専門家も交え、議論の場を作っていく

□現代社会の捉え方の一視点

〔作業仮説〕

・情報化社会（テレビ・ネット・ケイタイの普及，サブカルチャーの影響）

・資本主義社会（豊かで便利な社会，お金で何でも買える社会）

→共同性の解体もしくは変容と価値観の多様化

⇒どのような社会をつくるのかという問題

⇒自立的人間（＝現代の市民社会における個人）の育成が課題

<参考文献>

- 中尾香子「第3章 子育て支援の体系化」(北野幸子他編著『子育て支援のすすめ—施設・家庭・地域をむすぶ』ミネルヴァ書房, 2006年, 所収)。
- 中尾香子「乳幼児の育ちの現状と課題」(伊藤良高他編『幼児教育のフロンティア』晃洋書房, 2009年, 所収)。
- 汐見稔幸他編著『子育て支援の潮流と課題』ぎょうせい, 2008年。
- 泉千勢他編著『世界の幼児教育・保育改革と学力』明石書店, 2009年。
- 鈴木由美子『ペスタロッチー教育学の研究—幼児教育思想の成立』玉川大学出版部, 1992年。
- 福田博子「ペスタロッチーの幼児教育思想—『幼児教育の書簡』を中心として—」(『八州学園大学紀要』第3号, 2007年, pp. 39-47, 所収)。
- 西澤宣子「ペスタロッチ『幼児教育の書簡』における母親像」(『兵庫教育大学幼年教育講座幼年児童教育研究』第15号, 2003年, pp. 25-37)。
- 尾上明子「ペスタロッチ『幼児教育の書簡』に関する一考察」(『名古屋柳城短期大学紀要』第24号, 2002年, pp. 65-74, 所収)。
- 大澤裕「子ども観の基礎となるもの—ペスタロッチの幼児教育思想を中心として—」(『聖徳大学児童学研究紀要』pp. 29-35, 所収)。
- 福田弘『人間性尊重教育の思想と実践—ペスタロッチ研究序説—』明石書店, 2002年。
- 別府愛「イギリスにおけるペスタロッチー教育思想の受容についての一考察—メーヨー兄妹による『本国および植民地幼児学校協会』の活動を中心に—」(『武蔵野音楽大学研究紀要』第28巻, 1996年, pp. 135-151, 所収)。